



★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

イーペー
Yper
「OKIPPA
(オキッパ)」

再配達防ぐ簡易 宅配ボックス

OKIPPAを使うことで再配達を無くし、配達で生じるCO₂削減と環境負荷や労働の負担低減に貢献しつつ、非対面受取も可能に。衣料廃棄物でできた再生リサイクルポリエステル製のバッグの普及で環境負荷も抑える。OKIPPAは場所・工事が不要、手のひらサイズに折り畳め、ドアに固定してぶら下げるだけ。置き配保険や専用アプリの配送通知で安心も。販売数16万個。



★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

カエルデザイン
「カエルデザイン」

海洋プラごみを アクセサリに

デザイナー、アクセサリ作家、クリエイティブ・ディレクターの3人からなる「カエルデザイン」が、障がい者の就労支援施設と共同で取り組む。海岸で集めたプラスチックを手作業でイヤリングやペンダントなどのアクセサリにアップサイクルする。当初は金沢の海岸で回収していたが、現在は全国14都道府県の団体や個人から届く海洋プラスチックも対象にしている。

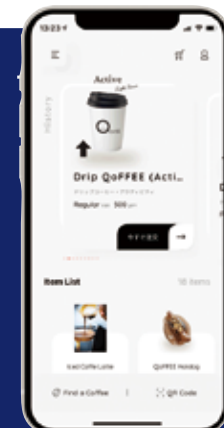


★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

ワン ビザ
one visa
「one visa for
行政書士」

煩雑な入管業務を 速く・正確に

入管業務をオンライン化し、ビザの申請情報の収集、書類の自動生成、申請状況の可視化などのサービスを展開。外国籍人材が移住する上で直面する課題の解決を目指した。本サービスに行政書士、企業、外国籍人材の3者がログインし、最新情報を確認できるほか、面談の時間が充実することで精度の高い提出書類を作ることができる。



味と生産背景を 見える化

★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

アルタレーナ
「QoFFEE by
rio coffee
(コーヒーバイ
リオコーヒー)」

生豆の買付価格を相場の2倍以上とする独自の基準を持つ。再生プラカップを利用し、兵庫県芦屋市の間伐材で作られたトレイで提供。カップのQRコードを読み取ると、「誰が」「いつ作った」「どんなコーヒーか」などのストーリーが読み込める。美味しさを記録できる機能もあるので、消費者の満足度を可視化できる。生産者に伝えることで「おいしさでつながる循環システム」を構築。

漂着海藻が生み出す天然食物繊維



★★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

キミカ
「アルギン製品
シリーズ」

アルギン酸は海藻のネバネバ成分からつくられる天然の食物繊維。食品、医薬品、化粧品などの原料として幅広く活用される身近な素材。キミカのアルギン酸は、固くて食べることができない南米チリの漂着海藻を原料に、環境配慮型の独自製法で生産されている。他に使い道のなかった漂着海藻に価値を見出すことで、チリ漁民の生活水準を飛躍的に向上させたほか、アルギン抽出後の海藻残渣は肥料としてチリの農家に無償提供されている。

★★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

オルタナ編集部が
推奨する

サステナブル★セクション2021

サステナブルセクション(オルタナ／一般社団法人CSR経営者フォーラム共催)は、サステナブル(持続可能)な手法で開発された製品／サービス／ブランドを選定して、ご紹介する仕組みです。「★」は製品／サービス／ブランドそのもの、「★★」の応募は任意で、組織とし

てサステナブル経営を推進しているかどうかをオルタナ編集部が選定します。最高位の「★★★」は毎年10月に開かれる審査委員会で決定します。「★」の募集は年4回実施します。詳しくは、右のQRコードからサイトをご参照ください。

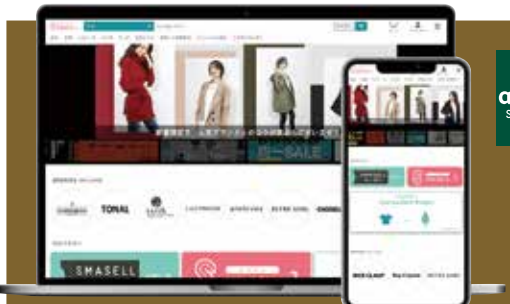


★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

大阪ハニー
「financier
And Honey」

国産生ハチミツの 自然派スイーツ

加熱処理をしない国産ハチミツを使って、自然のままの色や香り、味を生かしたオリジナルスイーツを製造。都市養蜂事業「NPO法人梅田ミツバチプロジェクト」を支援し、大阪市内での採蜜を通じた地域の緑化環境づくりに参画。ミツバチが育つ環境は安心と安全の指針にもなり、自然と寄り添う都市養蜂の生産現場を維持することで、まちづくりに寄与する。



★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

ウェアブルック「SMASELL(スマセル)」 シェアで「衣類ロス」解決へ

衣類の滞留在庫を持つサプライヤーと、製品を必要とするバイヤーをつなぐ卸売・仕入れのマッチングプラットフォーム。1千社以上のサプライヤーと約2万5千人の会員がいる。廃棄されるB品や返品、レンタルで使われた古着などを取り扱い、世界で年間228億着が廃棄される「衣類ロス」問題に取り組む。



★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

フェルマータ
fermata
「EVE
オーガニック
生理用ショーツ」

環境配慮型の 生理用ショーツ

肌に触れる部分には国際認証(GOTS)を取得したオーガニックコットン製の生地を採用。欧州のエコ認証「Oko-tex standard 100」取得の吸水生地、サステナビリティ認証「ブルーサイン」取得のシンパテックスを防水生地に使うなど、こだわりの素材で作られている。製造時に動物実験をしていない。使い捨ての紙ナプキンの使用量を減らすことにも一役買うので環境にも貢献。



若者向け和装 「粋る」を訴求

★
alterna
SUSTAINABLE
SELECTION
2021

コール
巧流
「巧流-call-」

職人の家系で生まれた20代の兄弟が設立した。和裁士の文化継承を目指した若者向けブランドである。消費者に「粋る」というこだわりをもって購入してもらい、長期的に使用してもらう「エシカル消費」を広げたいという思いを込めた。布を直線に裁断し、縫いの技術で仕立てる着物は、別の製品に作り直したり、仕立て直して次世代に受け継いだりできることが特徴だ。



トヨタ自動車
「Toyota Green Wave Project」

生物多様性も自然共生も

地域ごとの「いい町・いい社会」の実現に向けて、自然保全活動の輪を地域や世界とつなぐ3つの活動を展開。その一つ「トヨタグリーンウェイブプロジェクト (GWP)」では、生物の生息域保全など自然共生活動に取り組む。活動を開始した2016年から、オールトヨタ自然共生ワーキンググループに参画する22社を中心として、生物多様性に寄与するサステナブルな社会づくりを目指す。



大橋量器
「エコ加湿器マスト」

地域木材で空気を潤す加湿器

長野県木曽地方や岐阜県の東濃ヒノキを材料にしている。サイズの都合で建築材としては使えない端材を仕入れるほか、生産地の近郊から仕入れることで、地域経済の活性化やCO₂の排出削減を目指す。マストは電気を使わず、水を注いで置くだけの自然気化式。枺を作る際に出る「かんなくず」でできたフィルターが水を吸い上げ、ヒノキの香りとともに空気を潤す。

パイナップルレザーで商品展開



ラエステレン
「LAERSTERENN」

ヴィーガン素材として注目を集めるパイナップルレザーを使った商品を展開している。顔料にもオーガニック素材を使い、動物福祉と環境負荷に配慮した製品を作っている。縫製は国内で行い、公正な生産体制を維持する。梱包もプラスチックフリーを徹底し、オーガニック素材を使った巾着などを採用。同代表はSDGsなどの勉強会を通じて、購入者に分かりやすく透明性のある情報開示を行っていることも特徴の一つ。



モリト
「C.O.R.E.」

廃漁網を身近な樹脂製品に

海洋プラスチック問題の一つである廃漁網を原材料としたアパレル副資材や雑貨などの樹脂製品を作っている。海の生態系に影響を与えているプラスチックゴミの4割以上が廃棄された漁網だ(環境省調べ)。廃漁網を身近な製品に加工することで、海洋汚染問題に取り組む。金属付属品の製造工程では水・化学薬品・電気などの資源の使用を削減し、汚染物質の排出を抑える。



生分解性ラップ
食ロス削減も

ティーム
(ビーエコラップ・ジャパン)
「Bee Eco Wrap/ビーエコラップ」

ミツロウとホホバ油、木の樹脂をブレンドし、GOTS認証のオーガニックコットンに浸透させて作られた生分解性のラップ。従来のラップの代わりに使うことで、プラスチックや石油製品の消費削減に貢献することができる。エコプリントで生地を印刷する、ハチに負担をかけない方法でミツロウを採取するなど、環境への配慮にこだわる。



V系×エシカル 伝統と環境支える
ネオエシカルファッションブランド
「兆-KIZASI- MADE WITH JAPAN」

フェアトレードオーガニックコットンの生地と、オーガニックコットン製のミシン糸からなるオリジナルブランド。京都の伝統技術「京黒染め」でデザインを施し、伝統技術の継承も支える。サプライチェーンの人権を守り、適切な労働環境やトレーサビリティを保証するbioRe COTTONや、CO₂削減につながるコンポストになる梱包材を導入。



トラスト 「ウィズスクエア福岡」

SDGsなレンタルオフィス

社会起業家を対象としたレンタルオフィス。多目的スペースやスタジオとしての利用も可能で、SDGsやソーシャルグッドに興味がある事業者のコミュニティの拠点を目指している。社会課題解決型の事業に取り組む人にオンラインでの相談会や講座を展開。運営会社のトラストは、「ユヌス・ソーシャル・ビジネス・カンパニー」として認定を受けている。



h.LAB
「Clean & Refresh Hand Care Mist」

人・環境をケアするハンドミスト

手指を清潔に保ちながら乾燥や手荒れを防ぐ衛生ケアアイテム(化粧品)。主成分であるサトウキビ由来のオーガニックアルコールは、原産国の農業従事者への公平な賃金、生活、教育の改善を目指したフェアトレード認証原料。その他成分も動物実験を行っていないオーガニック認証原料のみ採用。売上金の一部を、国連WFPを通じた食糧支援にも。



リエート事務局
リエートス
「ReEthos」

社会起業家の挑戦を後押し

「社会課題に挑戦できる居場所づくり」「社会起業家の育成」「協力して課題を乗り越える」——をポリシーとして社会起業家の支援やコミュニティ運営を行う。毎月セミナーを開き、ソーシャルビジネスやSDGsを啓発するほか、実装段階に入った個人・企業にコンセプト立案、事業計画からマーケティングなどの観点で支援する。福岡にあるが、タイや関東圏などの事業者とも連携している。



ウテナ
「ゆず油」

100%植物由来のヘアオイル

高知県北川村のゆずの種から抽出したオイルを使用。数滴でトリートメント、ティースプーン数杯の量でヘアパックや頭皮マッサージにも使え、複数のケアをゆず油ひと瓶でまかなえるのが特徴だ。包装にはFSC森林認証紙やリサイクル率の高いビンを採用。後継者不足に悩む地方自治体の活性化に協力し、地元小学校向けにオンライン授業も行っている。



シャプラニール=市民による海外協力の会
「クラフトリンク」

生産者と消費者を手仕事でつなぐ

石けんのオリジナルブランド「She with Shaplaneer」では性産業に従事せざるを得なかった女性たちに仕事の機会を提供するなど、クラフトリンクの手工芸品づくりが三度の食事や子どもの教育といった生活向上のほか、生産者のエンパワメントにつながっている。現地の生産団体と連携し、生産者と日本の消費者間のより良い関係構築を目指す。



大栗紙工
「mahora」

発達障がいでも 使いやすいノート

発達障がい者の中には既存のノートに使いづらさを感じる人がいることを知り、製品開発が始まった。当事者に聞くと、「白地だと紙の反射がまぶしい」「薄い罫線で行が分かりにくい」といった声があった。試作を重ね、色は優しい色合いのレモンとラベンダー、罫線は行が分かりやすい「あみかけ罫」と「太細交互罫」で、誰でも使いやすいノートを作り上げた。



児童発達支援
「ハッピーテラス」

放課後等デイサービス
「ハッピーテラスキッズ」
就労移行支援
「ディーキャリア」

発達障がい者の 経済的な自立を

発達障がい児・者の将来的な経済的自立を目指し、児童発達支援のほか、放課後等デイサービス「ハッピーテラスキッズ」、就労移行支援「ディーキャリア」などを運営。0歳児から大人まで、年齢で分断されがちな福祉支援の場を一貫して提供している。全国の地域密着型のパートナー企業と連携し、35都道府県で181事業所を運営するほか、IT特化型の支援事業を4拠点で展開する。



染織工房 空蝉
-utsusemi-
「エシヌ」

植物染料の 手染めマスク

奈良時代から続く草木染めで、コットン素材のマスクなどの製品を一枚一枚手染めしている。マスクのアジャスターにはなめし草、パッケージにはコピー用紙のアップサイクル素材「PELP!」を採用。身近な素材から繊維を採り出して織る、野山の草木で染める、その色や効能、歴史を学ぶワークショップを通じて、食育ならぬ「服育」を普及させる活動も行う。



ハートツリー
「きのかみ」

吉野杉の折り紙で「木育」を

吉野杉を原材料とし、折ったり切ったりすることのできる新感覚の「木の紙」。これまで捨てられていた端材をおもちゃにするプロジェクトの一環で開発された。折り紙や工作の資材として、吉野杉の木目、香り、手触りを五感で楽しむことができる。木を0.1ミリの薄さにスライスし、紙と張り合わせる技術で作られた。日本の森について学ぶ「木育」のきっかけにもつながる。



ハンドタオルで サンゴ礁再生

ブランシェス
「サンゴの森
「ECO今治サンゴタオル」

従業員が沖縄の海でサンゴの大量白化を見たことがきっかけで、サンゴ礁の再生活動を開始。2010年以降、ハンドタオルの売り上げの10%を寄付している。販売枚数は1万6341枚、植えたサンゴは社内ボランティアで植えたものと合わせて268株に上る。3月5日の「サンゴの日」に新発売したサンゴタオルは、パイル部分を「ケナフ30%使用」から「オーガニックコットン100%」に変更。全国のブランシェス店舗やオンラインショップで購入できる。



アムリターラ
「ハイビスカス チーク
(パウダリー)」

沖縄のハイビスカスをチークに

メイクアップ製品に使われる合成着色料(タル色素)や、カルミン、コチニールをはじめ、石油由来成分を一切使わない100%天然由来のチーク。沖縄・宮古島の在来種「あかばな」というハイビスカスが原料だ。売り上げの一部を「サンゴの森基金」に寄付し、沖縄のサンゴ礁の再生や保護活動、サンゴ培養植付け、保護技術の確立に使われる。



アムリターラ
「インディゴ バランシング
ソープ」

日本の「藍」で 昔ながらの石鹸

国内最大の藍の生産地、徳島県のタデ藍を使用し、昔ながらの製法を継承した石鹸作りを行う。減少傾向にある藍農家と直接契約することで地域振興につなげる。植物オイルはすべてオーガニック、シアバターはフェアトレードで調達。50℃前後の温度で時間をかけて熟成させる「コールドプロセス製法」は、原料に含まれる成分を壊さない必要最低限の熱だけを加える製法だ。



アンバーアワー
「ORIKAGO」

アフリカ農村部の 女性たちと作るかご

ケニアに自生する植物サイザルを原料にした収納かごで、幅広い色、デザイン、サイズを展開。衣類入れやペンケースなどさまざまな使い方ができ、脱プラスチックを促す。ケニアの農村部に自社工房を設け、約250人の女性たちと製品づくりに励む。伝統的な手織り技術など、簡易な作業工程を維持することで、誰でも参加できる仕組みを形成した。



保湿クリームに 無農薬の和ハーブ

アムリターラ
「エイジソリューションクリーム」

地産地消や産地支援に根差し、できるだけ農薬や肥料を使わない原料を厳選している。ニガヨモギ、桑の葉、ドクダミなどの和ハーブをオリジナルエキス化。クリームに含まれるニガヨモギ、ローマンカモミール、ホワイトローズマリーは、自社農園で農薬も肥料も使わずに育てている。同社の他製品も含め、2021年3月末から使用済み容器を直営店で回収し、リサイクルも始める。



ライオン サステナビリティ推進部
「ハブラシ・リサイクルプログラム」

歯ブラシの資源循環構築へ

使い終わった歯ブラシを回収し、植木鉢などのプラスチック製品として再資源化するプログラム。歯ブラシは使い続けると汚れを落とす効果が低下するため、月に1度の交換が望ましいという。そこで、歯ブラシを資源循環させることで、環境貢献と口腔衛生を両立できる仕組みづくりを目指す。



Innovation Design
「とれたて魚と野菜の小料理 KIGI」

レストランで食品ロスを啓発

食品ロスを削減するためのユニークな施策を展開。例えば、提携する農家で野菜が取れすぎた時や賄いを作りすぎた時に、1品を「OSUSOWAKE (おすそわけ)」として無料で提供する。店舗で発生した生ゴミはコンポストでたい肥化し、有機野菜を育て、その野菜を使った料理を提供し、食資源の循環を進める。週に1日だけ菜食を実践する「ミートフリーマンデー」も実施。



ライフ
コーポレーション
「BIO-RAL
(ビオラル)」

「ライフ」発の自然派スーパー

食品スーパー大手のライフが展開するナチュラルスーパーマーケット。大阪市と東京・吉祥寺に出店している。「オーガニック」「ローカル」「ヘルシー」をコンセプトに商品を展開し、丸井吉祥寺店では「顔の見える野菜」として、オーガニック野菜の生産者の顔写真入りのPOPを掲示する。紙製ストローや木製スプーン、竹製割りばしなどを採用し、プラ削減にも取り組む。

食品スーパー大手のライフが展開するナチュラルスーパーマーケット。大阪市と東京・吉祥寺に出店している。「オーガニック」「ローカル」「ヘルシー」をコンセプトに商品を展開し、丸井吉祥寺店では「顔の見える野菜」として、オーガニック野菜の生産者の顔写真入りのPOPを掲示する。紙製ストローや木製スプーン、竹製割りばしなどを採用し、プラ削減にも取り組む。



Innovation Design
「KITCHEN MANE」

料理の価格利用者が決める

食を取り巻く社会課題を知ってもらうために、料理の価格を設定せず、学びの対価として利用者が価格を決めるレストラン。三重県の二木島漁港から、市場には出回らない魚も含めた鮮魚を仕入れて料理を提供する。正規品も規格外も同等に仕入れ、規格外の野菜が廃棄されている現状なども伝えている。その日の食材でメニューを考案することで食品ロス削減にも貢献している。

食を取り巻く社会課題を知ってもらうために、料理の価格を設定せず、学びの対価として利用者が価格を決めるレストラン。三重県の二木島漁港から、市場には出回らない魚も含めた鮮魚を仕入れて料理を提供する。正規品も規格外も同等に仕入れ、規格外の野菜が廃棄されている現状なども伝えている。その日の食材でメニューを考案することで食品ロス削減にも貢献している。



課題解決目指すおみやげ店
Innovation Design 「haishop」

商品は「日本で作られたもの」と「社会課題解決につながるメッセージが込められているもの」を基準に選んでいる。商品を通じて社会課題を知ってもらい、ライフスタイルを変える機会の提供を目指す。輸送で生じるCO₂を抑制し、日本経済を支えるために日本製にこだわる。障がい者就労支援施設との連携なども進める。



ハートツリー
「環ル森(めぐるもり) ~Sustainable Forest~」

森林保全につながる和楽器のCD

和太鼓、箏、尺八、篠笛、三味線など和楽器のみで構成し、世界25カ国で単独公演を行った「AUN J クラシック・オーケストラ」のアルバム。森をテーマにした9曲を収録。売り上げの一部を山梨県笛吹市の植樹活動に寄付し、ブナ、ミズナラなど地元植生の広葉樹を伐採跡地に植えて水源林を育てる。CD発売にあたって50本を植樹するほか、CD1枚に植樹1本が寄付されるセットも発売する。



王子ネピア
「うんち教室」

トイレや排泄のイメージ変える

学校のトイレで排泄するのが恥ずかしいと、我慢する子どもたちは少なくない。そこで王子ネピアは2007年、日本トイレ研究所とともに、排泄から健康や環境、社会との関係性などを学べるプログラムを開始。累計2万人以上の子どもたちが参加した。小学校で「うんち教室」を行うほか、小学校の養護教諭を対象にした「うんち教室研修会」などを無償で実施。2021年度からは小中高学年向けの新規プログラムを開始する予定だ。

学校のトイレで排泄するのが恥ずかしいと、我慢する子どもたちは少なくない。そこで王子ネピアは2007年、日本トイレ研究所とともに、排泄から健康や環境、社会との関係性などを学べるプログラムを開始。累計2万人以上の子どもたちが参加した。小学校で「うんち教室」を行うほか、小学校の養護教諭を対象にした「うんち教室研修会」などを無償で実施。2021年度からは小中高学年向けの新規プログラムを開始する予定だ。



離島の自然でアクセサリ

kikirico
「kikirico」

有数の真珠の産地である壱岐島の自然物を使用したアクセサリブランド。アクセサリの製作に用いる「パロックパール」はそれぞれに歪みがあり、唯一無二のデザイン性や希少性に惹かれる人も多い。カキ殻を釉薬にした焼き物、島の飲食店から出た天然のアワビの殻、海岸で集めた貝殻やシーグラスなども活用している。売り上げの一部を環境NGOのJEANに寄付している。



竹製歯ブラシで脱プラに貢献



BALIISM
「バンブー歯ブラシ」

柄の部分に100%天然の孟宗竹を使った竹製歯ブラシ。ブラシ部分は、植物由来のひまし油から生産されたバイオマスブラシを採用し、脱プラスチックに貢献している。毛質はやわらかく、やさしい磨き心地と毛先の細かさが特徴だ。温かみのある手触りと見た目、洗面台にそのまま置いても生活感があらず、インテリア性もある。しっかり握れる円筒形状とオーソドックスな平型形状の2種類。



BALIISM
「バンブーストロー」

繰り返し使える竹製ストロー

バリ島の計画伐採地区で採れた高品質の竹を使ったストロー。現地の職人が一つずつ手作りしている。サイズはノーマル、子ども用のミニサイズ、タビオカ用の3種類。自然素材の持つ暖かみのある質感が特徴だ。繰り返し使える竹ストローは生分解性があるので自然に還る。世界的に展開しているラグジュアリーホテル・アリラホテルグループや日本のカフェで採用されている。